

パ  
ン  
ド  
ラ  
の  
箱



## 赤い箱

---

暗く深く黒く

その中に赤色の箱

箱がありました。

世界は白か黒しか知らず

赤く染まったそれに、有った事に気付きませんでした。

パンドラの箱は赤い血でした。

白か黒か、心のような漆黒。

それでも開けてみたくなりました。

## 災厄の箱

---

心を開くかのように、箱を開けました。

黒く暗く深く

災厄や絶望が降り注ぎました。

底に希望などあるとは思えませんでした。

箱の色は鮮血の赤だった気がしました。

赤色はどこだろうと

漆黒の中探していました。

鮮血は底にありました。

## 至高の箱

---

満ち溢れているとは知りませんでした。  
染まっていく事がとても楽しくなりました。  
鮮血が流れ輸血のように染み  
浸蝕されていくこと  
それは幸せだとは知りませんでした。  
幸せとは 楽しいものでした。  
徐々に徐々に侵されて  
美しいものでした。  
血飛沫を浴びることが楽しいとは知りませんでした。  
返り血がとても愛おしいと思いました。  
私には血が無かったのかもしれませんが。  
たくさん浴びたくなりました。  
パンドラの箱は鮮血の赤色だった気がします。  
底は何色だったか  
忘れ始めていました。

## 箱の底

---

返り血の色はたくさんありました。

赤 青 緑

それらがありました。

真紅がありました。

天鷲絨がありました。

深縹がありました。

赤ではなくなりました。

返り血は赤くなくなりました。

パンドラの箱の底は黒色だった気がしました。

## パンドラの箱

<http://p.booklog.jp/book/126761>

著者 : miser

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/sakumize/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/126761>

電子書籍プラットフォーム : パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社トゥ・ディファクト